

PS Pro-Ship

Speciality for Customer

証券コード 3763

第57期 株主通信

2025年4月1日 ～ 2026年3月31日



©佐賀県観光連盟・佐賀バルーンフェスタ組織委員会

株式会社 **プロシップ**



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

■ 中期経営計画「Be Hybrid 2028」は「構築期」から「拡張期」へ

当社は現在、事業成長の大きな転換期を迎えています。2024年度を初年度とする中期経営計画「Be Hybrid 2028」の「構築期」にあたる最初の2年間に、従来のビジネスモデル「Best of Breed」の更なる進化を目指し、次世代モデルの構築に取り組んでまいりました。そして今、大企業特有の独自のニーズに応える「パッケージモデル」と、導入スピードと拡張性に優れた「SaaSモデル」の二刀流「ハイブリッドモデル」がいよいよ本格始動いたします。

■ 新リース会計対応における日本企業の課題を解決する

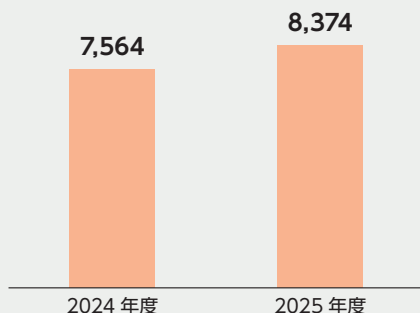
2027年4月から強制適用される「新リース会計基準」への対応は多くの日本企業にとって喫緊の課題となっています。当社は固定資産・リース管理領域のソートリーダーとして、この社会的要請に応える責務があります。既存のユーザー企業様への確実な対応はもちろんのこと、SaaSソリューション「ProPlus+」を武器に新たな企業様の期待にも力強く応えてまいります。

■ 世界で最も優れた固定資産管理ソリューションを提供する

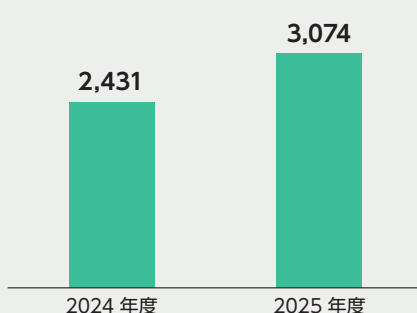
新リース会計の事業機会を確実に捉え、顧客基盤および収益基盤の更なる強化を果たすとともに、基本理念「Speciality for Customer」のもと、高い専門性を追求し、世界で最も優れた固定資産管理ソリューションの実現に向けて、邁進してまいります。今後とも株主の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長 鈴木 資史

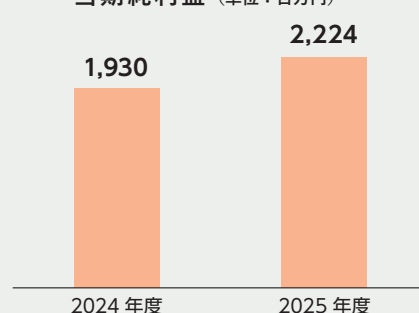
売上高（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する
当期純利益（単位：百万円）



業績ハイライト

わが国経済は、賃上げの浸透に伴う個人消費の底堅さや、堅調な企業収益を背景とした設備投資の拡大により、緩やかな景気回復が続きました。一方で、継続的な物価上昇や為替相場の変動に加え、地政学的リスクの長期化による供給網への影響など、先行き不透明な状況が継続しております。

情報サービス産業においては、人手不足の深刻化を背景とした業務効率化ニーズが一段と高まっており、大企業や中堅企業を中心に、生成AIの活用や基幹システムのクラウド移行(SaaS化)といった、競争力強化に向けた戦略的なIT投資が活発に推移いたしました。

このような状況下で当社グループは、主力である固定資産管理ソリューションにおいて、既存顧客のバージョンアップ需要を的確に捉えるとともに、戦略的注力分野であるインフラ業界にて大型案件を強力に推進するなど、大企業や中堅企業の業務効率化、経営管理の高度化に資するソリューションを展開してまいりました。また、人的資本への投資として譲渡制限付株式報酬制度の継続実施や業績に応じた賞与による還元を推進したほか、新リース会計基準への対応を中心に製品機能の戦略的強化を図るなど、未来の稼ぐ力となる人財と製品開発への積極的な投資を継続しております。

新リース会計基準への対応を見据えた好調な引き合いと、導入プロセスの効率化、人財への投資(スキルアップ)を背景とした要員一人当たりの生産性向上、および全社的な品質管理体制の強化により、案件の大型化に対応しつつ売上原価の抑制を実現したことで、売上高、利益ともに堅調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高8,374百万円(前期比10.7%増)、営業利益2,925百万円(同26.7%増)、経常利益3,074百万円(同26.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,224百万円(同15.2%増)となりました。

今後は、新リース会計基準の適用を見据えたシステム投資需要が本格化することを見込んでおります。この確実な需要を取り込むため、パッケージソリューションによる既存顧客への迅速なバージョンアップ対応を推進するとともに、SaaSソリューションの展開を加速させ、新規顧客の開拓を一層強化してまいります。

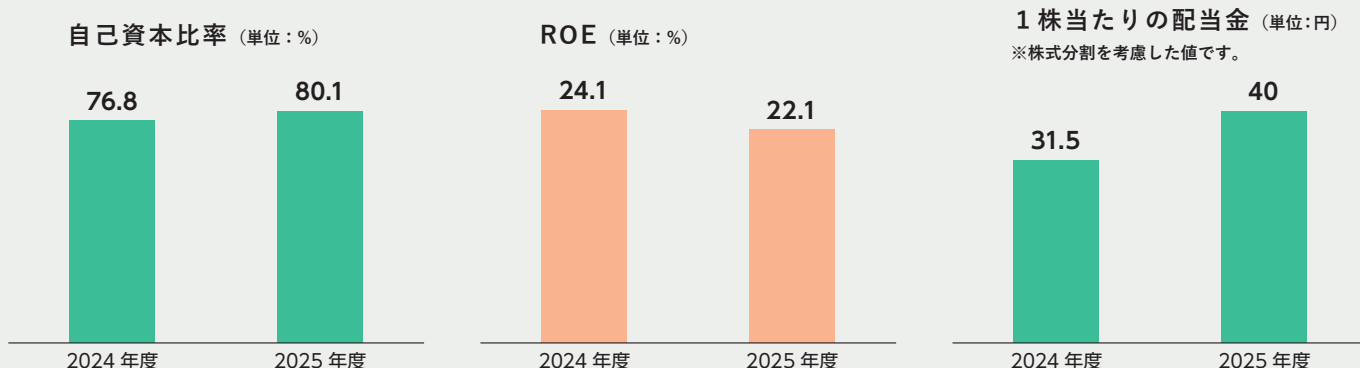
あわせて、世界で最も優れた固定資産管理ソリューションの提供を目指し、新リース会計基準に対応した製品機能の更なる拡充や、次世代ソリューションの研究開発に注力いたします。また、当社の「稼ぐ力」の源泉である人財基盤を盤石なものとするため、優秀な人財の採用および教育、ならびに人的資本経営を支える報酬体系の強化など、積極的な投資を継続してまいります。

当期・次期の配当

当社は、持続的成長のための先行投資を推進し、収益力および資本効率の向上を図るとともに、累進配当を継続して実施することで、株主の皆様への積極的な利益還元に取り組みます。

当期の配当は、前期決算にて公表した配当予想から8円増配し、1株当たり40円(前期比8.5円増、配当性向45.3%)とさせていただきます。次期(2027年3月期)の配当は、1株当たり42円(配当性向46.0%)を予想しております。

※株式分割を考慮した値です。



特集 新リース会計基準

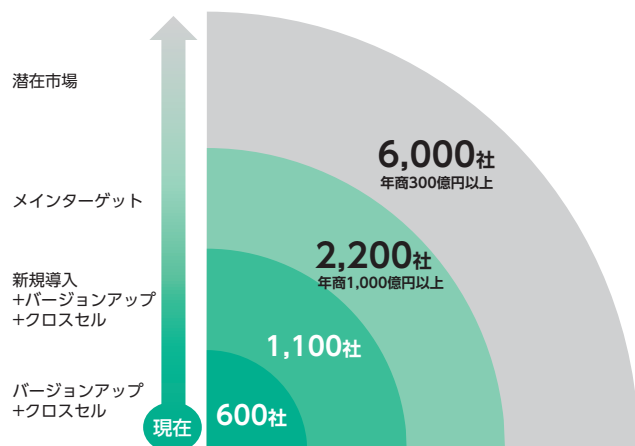
現在、日本の会計基準は国際的なルールとの整合を図るための改定が進んでおり、その中核となるのが2027年4月から強制適用が開始される「新リース会計基準」です。

これまでリース契約の多くは、毎月の支払い時に費用として処理する「オフバランス処理」が認められていました。しかし新基準では、原則として「すべてのリース契約」を資産・負債として貸借対照表（B/S）に計上する「オンバランス処理」が求められます。

これにより、日本企業は資産・負債の増加による財務指標への影響に加え、膨大な契約情報の収集や複雑な現在価値計算、高度な開示対応といった、かつてない実務負担の増加に直面することになります。

■ 日本企業の新リース会計対応に貢献する

当社の固定資産管理ソリューション「ProPlus」は、日経平均構成企業や各業種のリーディングカンパニーにおいて「およそ2社に1社」という高い採用実績を有しています。この度の制度改正を機に、年商1,000億円以上の主要企業 約2,200社におけるシェアを50%超へと引き上げるべく、高い専門性で日本企業の円滑な新リース会計対応に貢献してまいります。



システム営業本部 本部長

水野 恭併

Kyohei Mizuno

新リース会計対応に向け、既存ユーザー様に圧倒的な安心感を提供する

■ ユーザー様との信頼関係が最大の財産

当社が誇る最大の財産は、あらゆる規模・業種の既存ユーザー様と長年にわたり築き上げてきた強固な信頼関係です。2027年の新リース会計基準適用が迫る中、今年2月に開催したユーザー会には、定員を大きく上回る640名超の実務担当者様にご参加いただきました。会場を包んだ圧倒的な熱気と飛び交う切実なお声の数々は、我々の専門的な知見と手厚いサポートに対する期待の大きさの表れに他なりません。

■ 制度改正にて圧倒的な安心感を提供する

これまで長年にわたり当社のシステムをご活用いただいているお客様の信頼に、私たちは万全の体制でお応えします。従来製品の確実なバージョンアップを推進するとともに、各社が抱える個別の業務課題に対しても、日本屈指のトップ企業群が集うユーザーコミュニティの力を活かし、実践的な対応ノウハウを還元してまいります。

基本理念「Speciality for Customer」のもと、圧倒的な安心感を提供し、すべての既存ユーザー様と共にこの大きな制度改正対応を完遂してまいります。



SaaSソリューション開発本部 本部長

荻野 裕行

Hiroyuki Ogino

新リース会計で 社会インフラ領域に切り込む

■ 社会インフラ戦略の加速

2027年の強制適用に向け、新リース会計対応がピークを迎える2026年度、プロシップは戦略のギアを一段上げます。その中核の1つが「社会インフラ戦略」です。電力、ガス、鉄道といった、国を支えるインフラ企業各社においても、新リース会計基準への対応は急務です。当社は、IFRS16号で培った100社以上の先行導入実績という「ベストプラクティス」を武器に、まずは2026年度に、この領域でお客様が抱える課題「新リース会計対応」に貢献し、各社の信頼を勝ち取ります。

■ 「リース」の先にある「本丸」固定資産管理の獲得へ

そして、私たちの狙いはリース対応に留まりません。インフラ業界の皆様当社の専門性と「やりきる文化」を深く実感していただくことで、その先にあるビジネスの「本丸」——すなわち、膨大で、複雑性の高い「固定資産管理領域」への深耕を図ってまいります。リースという入り口から食い込み、最終的にはお客様の資産管理基盤そのものを支えるパートナーへと昇華させていきます。

■ 持続的成長へ「Speciality for Customer」を具現化する

社会インフラという、一分の隙も許されない領域において、プロシップのSpecialityを証明する。そして、お客様の期待を上回る価値を提供し続けることで、持続的な成長を実現してまいります。全社一丸となり、この大きな事業機会を確実な成果へと変えていく所存です。



システム営業本部 副本部長

巽 俊介

Shunsuke Tatsumi

SaaSソリューションで 新規500社の新リース会計対応に貢献

■ シェア拡大で市場をリードする

年商1,000億円以上のターゲット企業約2,200社のうち、既存顧客600社に加え、2027年度までに新規500社の獲得を目指します。拡張性に優れたSaaSソリューション「ProPlus+」を武器に未開拓市場へアプローチし、シェアを拡大してまいります。

■ SaaSソリューション「ProPlus+」の飛躍

IFRSの実績を凝縮した「ProPlus+」は、花王様をはじめ既に350社以上(グループ会社含む)に採用いただきました。需要がピークを迎える2026年度に向け、プロダクトと導入プロセスの進化を完了させました。万全の体制で日本企業の課題解決に貢献し、SaaSビジネスの飛躍を実現します。

■ システム導入の前工程から強力に支援

システム導入の前工程から専門性の高い支援ができることが当社の強みの1つです。課題整理を支援する独自コンテンツの提供など、実務担当者様1,200名超への伴走支援を通じ、将来のシステム採用へ直結する強力な接点を構築済みです。今後も基本理念「Speciality for Customer」を礎に、「新リースの中心にプロシップ」という地位を盤石なものとし、ステークホルダーの期待を超える価値を提供してまいります。



システム営業本部 副本部長

加藤 知恵

Chie Kato

プロモーションの力で ブランド価値・企業価値を高める

■ 持続的な成長に誠心誠意邁進する

この度、取締役の重責を担う機会を賜りました。「Speciality for Customer」の理念のもと、プロモーション活動を通じて「ProPlus」のブランド価値を高め、会社の持続的な成長に力強く貢献してまいります。株主の皆様にも、当社の次なるステージへの期待を感じていただけるよう、誠心誠意邁進いたします。

■ プロシップの「専門性」と「価値」を届ける

当社は現在、日経225構成銘柄のほぼ全社と接点を持つなど、かつてない事業拡大の機運を迎えています。新リース会計対応という最大の好機にプロシップの圧倒的な「専門性」と「価値」をより多くの方々に届けてまいります。

■ 高い専門性によるブランド優位性の確立

当社の強みは、各業界トップ企業の「2社に1社」をご支援する強固な顧客基盤と、そこから培われた高い専門性です。単なるシステム提供の枠を超えて、実務に踏み込んだ実践的な情報を戦略的に発信することで、確固たる「ブランド優位性」を確立します。さらに、社会貢献と事業成長をつなぐ「未来応援プロジェクト」等の独自施策を展開し、企業価値の継続的な向上を推進いたします。



ProShip 未来応援プロジェクト ～ 新リース会計対応チャレンジ1100

■ 事業活動と社会貢献活動の連動

2027年4月に強制適用される新リース会計基準への対応を支援する事業活動と戦略的社会貢献活動（CSR）を連動させた新イニシアチブ「ProShip 未来応援プロジェクト ～新リース会計対応チャレンジ1100」を始動しました。企業の財務課題解決とグローバル競争力強化に貢献するとともに、社会価値の創造を目指す取り組みです。

■ プロジェクトの概要

本プロジェクトは、当社の事業活動が社会貢献に直結する仕組み（Cause Related Marketing）を導入するものです。当社の基本理念である「Speciality for Customer」を追求することが、そのまま社会貢献活動へとつながる好循環を生み出し、社会価値の創造を目指します。

名称	ProShip 未来応援プロジェクト ～ 新リース会計対応チャレンジ1100
期間	～ 2027年12月31日
目標	新リース会計基準対応における1,100社の課題解決
活動内容	対象案件を1社受注するごとに1万円を積み立て、総額1,100万円の寄付を目指す
寄付先	日本赤十字社
寄付実施時期	2028年3月予定

Be Hybrid 2028

2年目の出来事

04月

佐賀県佐賀市に新拠点「SAGAオフィス」を開設しました。優秀な人財の採用・育成を通じて、地域への貢献と更なる事業の拡大を果たしています。／佐賀市へ企業版ふるさと納税を実施し、感謝状を受賞しました。寄付金は「バルーンのまち佐賀推進プロジェクト」「持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくりプロジェクト」に活用されます。

06月

佐賀県へ企業版ふるさと納税を実施し、感謝状を受賞しました。寄付金は「県立学校応援プロジェクト」に活用されます。

07月

全従業員を対象とした譲渡制限付き株式報酬を継続実施。株主の皆様との価値共有を進めると同時に、従業員のエンゲージメントを高め、経営理念の浸透を図ることを目的としています。／株式分割を実施。投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家層の拡大と流動性の向上を図ります。

■ 佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて



表紙の写真は、佐賀県佐賀市嘉瀬川河川敷をメイン会場として開催される熱気球の国際的なフェスティバル（競技大会）のフォトコンテスト入賞作品です。

09月

新リース会計基準セミナーの累計参加者数が2万人を突破。好評につき、継続開催を決定しました。

11月

通期業績予想を上方修正。／ProPlusの累計導入社数5,500社の達成を記念し、5円の記念配当の実施を発表。／社会貢献活動「未来応援プロジェクト～新リース会計対応チャレンジ1100」を開始。対象案件を1社受注するごとに1万円を積み立て、2028年3月に日本赤十字社へ寄付する予定です。

12月

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をアップデートしました。

02月

通期業績予想を上方修正。／3円の増配を発表し、1株当たり配当金予想を40円に修正。／ファーストアカウンティング社と資本業務提携契約を締結。新リース会計基準対応AIソリューションを共同開発。／「ProShipユーザー会 第46回ユーザー会研究会」を開催し、経理財務部門640名超が集結。

03月

日本赤十字社、東京都共同募金会、日本ユニセフ協会への定例寄付を実施。20年以上にわたり継続している取り組みです。

■ 会社概要 (2026年6月18日現在)

会 社 名	株式会社プロシップ
設 立	1969年 4 月 9 日
資 本 金	10億8,266万円
従 業 員 数	286名
主な事業内容	ソフトウェアパッケージの開発販売
事 業 所 本 社	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目 8 番 5 号 住友不動産飯田橋駅前ビル
西日本支社	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町三丁目 3 番 9 号 ORIX久太郎町ビル
SAGAオフィス	〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央一丁目 8 番32号 iスクエアビル
関 係 会 社	普楽希普情報系統 (大連) 有限公司 株式会社プロシップフロンティア

■ 役 員 (2026年6月18日現在)

代 表 取 締 役 社 長	鈴木 資史
取 締 役	水野 恭併
取 締 役	荻野 裕行
取 締 役	巽 俊介
取 締 役	加藤 知恵
取締役 (常勤監査等委員)	松本 千代子
取締役 (監査等委員)	一政 夫東志
取締役 (監査等委員)	三田村 善恵



〒102-0072
東京都千代田区飯田橋三丁目8番5号
電 話: 050-1791-3000
E-mail: kanri@proship.co.jp

お問い合わせ先／管理本部
IR情報は、当社ホームページでも
ご覧いただけます。

プロシップ

検索

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日	
中間配当金	中間配当を行う場合は9月30日	
公告方法	電子公告 https://www.proship.co.jp	
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel 0120-232-711	
株主優待	毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された 200株以上を所有する株主様を対象に、以下の区分に よりクオ・カードを年1回贈呈いたします。	
保有年数	保有株式数	優待内容
3年未満	200株以上1,000株未満	クオ・カード 1,000円分
	1,000株以上	クオ・カード 2,000円分
3年以上	200株以上1,000株未満	クオ・カード 2,000円分
	1,000株以上	クオ・カード 3,000円分

※ 継続保有期間 3 年以上とは、同一株主番号で 3 月末日および 9 月末日基準の株主名簿に
7 回以上連続して記載または記録された株主様となります。

株主の皆さまの
声をお聞かせください



当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り
↓
QRコードは株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクスの提供する
「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」
☒ koekiku@pronexus.co.jp



このカタログは環境に配慮し植物油インキ
を使用しています。